

# 九条の樹

49

2014年4月



東久留米「九条の会」ニュース

発行：東久留米「九条の会」

代表者 古田足日・連絡先 鈴木Tel.042-473-9489

http://members3.jcom.home.ne.jp/higashikurume9/

メール：higashikurume9@jcom.home.ne.jp

## 日本国憲法 第9条

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

安倍さん!

## 「集団的自衛権」の

## 解釈変えて大丈夫ですか?

安倍首相は現憲法のもとで「集団的自衛権の行使は可能」との憲法解釈変更を内閣で決めようとしています。これまでの政府の解釈は、憲法九条は集団的自衛権を認めていないので行使できない、というものでした。政府の立場を変

える事になるわけで、これに対して、「内閣が変わるたびに憲法解釈を変えることが可能になる」などと、自民党内部も含めて批判の声が上がっています。

Q 外国が攻めてきた時に自国だけでなく集団で防衛した方がいいと言っ意見がありますか?

安倍さんもそう言っています。ごまかします。政府は集団的自衛権は「自国と密接な関係にある国に対する武力攻撃を自国が直接攻撃されていないにもかかわらず、実力を持って阻止する権利」

(1981年政府答弁)の考えです。ですから、自分の国の防衛とは関係ないのです。

Q 公海上で自衛隊と共同行動するアメリカの軍艦が攻撃されても助けないのですか。

政府の諮問機関「安保法制懇」でも想定されている例ですが、専門家から「日本有事」なら個別的自衛権で対応できるとの反論が出ています。

Q アメリカにむけて発射された弾道ミサイルを打ち落とせないから集団的自衛権が必要と言っていますね。

日本上空通過なら「警察権」で対応が可能、米国に向けたミサイルは技術的に迎撃不可能、といわれています。

Q 安倍さんたちが集団的自衛権行使に固執するのはなぜですか?

一番はアメリカの要請です。アメリカはイラク戦争などで、日本政府に自衛隊の協力要請をしてみました。が憲法九条のしほりがあるため戦闘行動への参加は出来ませんでした。同時に国内でも、「防衛産業」をになう大企業が武器輸出の拡大、防衛予算の拡大をビジネスチャンスと、後押ししています。(東久留米「九条の会」事務局 鈴木信太郎)

## 集団的自衛権 (日本)

国際法上、国家は、集団的自衛権、すなわち、自国と密接な関係にある外国に対する武力攻撃を、自国が直接攻撃されていないにもかかわらず、実力をもって阻止する権利を有するとされている。わが国は、主権国家である以上、当然に集団的自衛権を有しているが、これを行使して、わが国が直接攻撃されていないにもかかわらず他国に加えられた武力攻撃を実力で阻止することは、憲法第9条の下で許容される実力の行使の範囲を超えるものであり、許されないと考えている。

— 『防衛白書』(各年度版)

東久留米「九条の会」講演会

フォトジャーナリスト・山本宗補さん講演会

むねすけ

国内外で活躍している東久留米市中央町在住のフォトジャーナリスト・山本宗補さんの講演会を2014年3月9日(日)、中央図書館視聴覚ホールで開きました。テーマは

「やすやすと騙されてはいけなく戦争体験者70人の証言写真集を出版して思う」

市内をはじめ近隣市や練馬区、大田区などからの参加者もあり、会場は満員になりました。山本さんは初めに福島原発の現状について、撮影した映像をもとに説明、そのあと昨年刊行した写真集『戦後はまだ：刻まれた加害と被害の記録』（彩流社）で取材した人たちの証言を報告しました。山本さんは「戦争と原発事故は瓜二つ」と語りました。講演の概要を紹介します。



山本宗補さん

何の保障もない作業員

私は2月26日に福島原発の内部を見てきました。報道陣に公開されたからです。私は原発事故の直後、被災地に入り、惨状をカメラに収め、写真集（『鎮魂と抗い 3・11後の人びと』彩流社）を出しました。警戒区域を繰り返し取材してきました。

原発の敷地内には汚染水タンクが所狭しと並び、タービン建屋は配管だらけでした。まだまだ片付いていません。これまで三万人を超える作業員が働きましたが、うち1万5000人が

5ミリシーベルトの被爆をしたと言われます。

この人たちが居なければ、原発事故の処理はどうしようもなかったのですが、3年経っても自分の保障も医療の保障も生活の保障もありません。大熊町から避難した60歳代の夫婦が3月に自殺したと聞きました。これは新聞で報道されていません。家に帰ることができず、仮設住宅や借り上げアパートに、がまんして暮らしてきて、人生をあきらめかけた人が、たくさん居られるのです。

責任不在の原発事故と戦争

原発事故は自民党政権が国策として原発増設を推進してきた結果、起きたものです。戦争も国策で行われました。戦争も原発事故も誰が責任を取ったか、誰も取っていません。

都民は東電福島原発から何十年も電力供給を受けてきました。事故が起きて初めてそのことに気が付いたのです。いわば

（福島の人たちに対して）加害者の立場だったわけですが、その認識があつたかどうか。3年経って、みんな忘れてしまっていないだろうか。

あの戦争も同じようなことが言えると思います。戦争末期、東京、大阪など主な都市は空襲で焼け野原になりました。沖縄戦があり、広島・長崎への原爆投下がありました。多くの人が戦争の被害に遭ったのです。戦争被害者意識は生まれませんでした。しかし、日本がアジアの人々に対して行った加害者としての意識がずっと抜け落ちてきました。

しかもいま、「あれは侵略戦争ではなかった」という人たちが出てきている。都知事選で「侵略」を否定する候補者がいましたね。安倍首相も、侵略戦争と認めた村山談話を見直すようなことを言い、第一次政権のときは「従軍慰安婦の」強制連行はなかった」と閣議決定して、欧米から批判されました。にも

かわらず、いまも同じようなことを言っている。

原発の安全神話を信じて推進に加担してきた人がいる一方で、原発の危険性を指摘して反対してきた人も、たくさんいます。しかし、戦争中は治安維持法もあり、軍部批判や戦争反対を唱えることはできませんでした。また、情報統制もあり、戦地で父や息子が何をしたか、教えられませんでした。

いろんな面で安倍政権の政策（特定秘密保護法、教育の国家統制など）と（戦時中）がつながっていると思います。

### 日本の加害の実態を伝えたい

そこで、私が取材してきた戦争体験者の話をしたいと思います。約30年前から東南アジアの取材をしてきました。私の父の時代に日本軍は何をしたのか、現地をよく言われました。それで初めて戦争のことを勉強しようと思うようになりました。戦争になると、人々はどのような

か、体験者の取材を始めたのです。

沖繩で戦争マリアの人の話を聞きました。日本軍によって八重山へ強制疎開された人たちのうち3600人がマリアで亡くなりました。石垣島では2500人が亡くなっています。陸軍中野学校出身の軍人が偽名を使って小学校に赴任し、軍刀を抜いて西表島へ強制疎開させるということもありました。

中国北部の部隊に送り込まれた元日本軍人は、初年兵教育として、生きた中国人捕虜を木に縛り付け、走って行って銃剣で突き殺す訓練をさせられました。当時の教育は中国や朝鮮の人びとを人間と認めない、恐ろしい差別教育をしていたのです。中国の八路軍を支援する村を取り囲んで住宅に火をつけて回りました。ある家からおばあさんが逃げ出してきたので、家に追い返して火をつけた。上官の命令に従わざるを得なかった

このことです。

ある陸軍軍医は中国人捕虜を生体解剖して殺したそうです。日本軍人が病気やけがをしたとき、どう治療すればいいかを生きた人間を使って実験したのです。

中国の従軍慰安婦も取材しました。日本軍基地に連行され、繰り返し強姦されたということです。韓国でもフィリピンでも多くの女性が性奴隷にされました。いま、それを否定する人たちがいいますが、こうした人権無視のひどい行為を、戦争中だからといって許されるものではありません。

（ほかに多くの戦争体験者の証言を山本さんは紹介しましたが、スペースの関係で割愛します）

東京大空襲の犠牲者10万人の慰霊碑は未だにありません。戦後70年経って死者の慰霊もできていない。だからいま戦争に平気で向かおうとする勢力がいるのです。原発事故があったの



中国残留婦人の国家賠償を求めた鈴木則子さん。調布市延浄寺にある「不忘の碑」には、『国に従って、国に棄てられた人びとを忘れず ふたたび 同じ道を歩まぬための 道しるべに』と

に外国へ原発を輸出しようとしているのと同じです。戦争を反省していない人と瓜二つです。戦争の反省がないから原発の反省もない。

私は若い人に日本の戦争加害のことを知ってもらいたくて写真集を出しました。学校で参考資料として使ってもらいたと思います。

（文と概要・矢倉久泰）

# ◆シリーズ 戦争体験記

## 焼夷弾を逃れて

石藤千代子（南沢）

第二次世界大戦の最後の年、十四歳だった私は、県立福山高  
等女学校に通っていました。

しかし、女学校ではもう授業  
はされず、女学生は勤労動員さ  
れて、軍服の縫製のために縫製  
工場や、電話の交換のために電  
話局などへ集められました。

我々同じ教室の四十人は、十  
人ひと組となって交替で電話局  
で働きました。男性交換手は戦  
地に赴き、女性交換手だけでは  
手薄だったからです。軍の重要  
な連絡のためにモールス信号も  
習いましたが、主な仕事は電話  
を繋ぐことでした。一般市民の  
電話も繋ぎましたが、「これこ  
れの物資を、大至急、調達して

届けるように」といった、軍か  
らの緊急手配の必要な電話が頻  
繁に入ってきました。

動員は、八月八日の夜、福山  
市が焼夷弾の爆撃を受けて壊滅  
する日までつづきました。

当時、福山駅に近いわが家  
は、母、姉、兄と私の四人で住  
んでいましたが、「爆撃だ」「逃  
げろっ」の声に家を飛び出しま  
した。外に出ると、すでに福山  
城には火柱が立ち、周辺部には  
火が回って、夜だというのに真  
昼のような明るさでした。西側  
は火の海で東へと逃げました。  
途中、何度も焼夷弾がヒューッ  
と音をたてて落ち、ばたばたと  
人が倒れましたが、どうするこ  
ともできませんでした。

何日かして火がおさまり、家  
のあったあたりを見に行くと、  
瓦礫の山と化していました。

幸い、姉が女学校の教鞭を  
執っていたので、爆撃を受けな  
かった市外の生徒さんの家でお  
世話になりましたが、長居はで  
きません。二、三日したら次の

お宅へと転々と移り歩きまし  
た。当てのないときは、一家四  
人、焼け残った畑や空き地で着  
の身着のまま夜を明かしまし  
た。夏とはいえ、明け方は冷え  
と空腹でガタガタ震えました。

福山市では、戦後間もなく学  
校が再開され、女学校も、焼け  
残った小学校を借りて授業が始  
まりました。でも、お世話になっ  
ていた何軒かの市外の家々から  
通うには遠すぎました。最寄駅  
へ行くにも、木炭で走る小型バ  
スはいつも満員で乗れず、歩け  
ば三時間もかかり、ほとんど女  
学校には通えませんでした。

市が、戦災者には優先的に材  
木の世話をする制度を設けて、  
もとの土地に家が建ったのは一  
年後のことです。薪としか見え  
ない寄せ集めの木で建てられた  
バラックでしたが、これで女学  
校に通える、心ゆくまで勉強で  
きると、安堵しました。

（聞き書き…高田桂子）

### 《おしらせ》

●東久留米キリスト者九条の会  
特別講演会

「アジアの一員として生きる」

（教育の視点から）

講師…比企敦子さん

日時…4月29日午後2時〜

会場…成美教育文化会館3F

大研修室

◎フルート、ビオラ演奏

辻中政恵・深谷由紀子

会費…3000円

問い合わせ：4734496（アコルテ）

●市民意見広告に参加

9条改憲阻止・平和外交の推

進・原発ゼロ社会の実現・貧困・

格差の是正・成熟社会への提

言…などの内容で

5月3日（憲法記念日）の新

聞に掲載します。東久留米「九

条の会」を目を凝らして見つ

けてください。

●プロジェクトを活用し

てください。（教育を考える

会と共同購入）スクリーン、

DVDもあります。

・STOP戦争への道

・祝の島

・伊藤真の「憲法つてなあと」

・わたしたちは忘れない（福島

避難区域の教師たち） など

※事務局または大山まで